

辞職決議案可決を受けて

「アイヌの人々は本当に先住民族なのか？」

この根源的問いに議員のだれひとり挑むことなく、少数意見を抹殺するが如く議員辞職決議案が可決されたのは誠に残念であり、信義と民主主義を重んずる札幌市議会は今日、その歴史に大きな汚点を残した。

決議案は根拠が希薄で、論理的に私を説得するものではなく、かかる内容をもって辞職、撤回、猛省の考えはない。

平成 20 年国会決議とアイヌ先住民族論の問題点について、わが国の名誉と尊厳を取り戻す立場から、タブーを恐れずこれからも発信を続けていく考えである。

平成 26 年 9 月 22 日

札幌市議会議員 金子 快之